

貢ぎマゾ強制募金Ⅱ

～Dominated Devotion～二章は初披露だと思
います…。

目次

コンセプト

登場人物

1章

凡例

scene1

scene2

2章

scene1

scene2

改ページ

コンセプト「Sein」

登場人物

光ちゃん

二人のうち作戦指揮系統およびお財布くんの選定を担うブレイン役。

彼女がブレインなのは単に頭がよく状況判断に優れているというのもあるが、それよりも彼女の人間性がこの貢ぎ募金というプレイに適合しているためです。

一つどうでもいい設定として中高一貫の高からの編入組。しっかり勉強して入ってきてるところが光ちゃんらしいと作者は思います。

萌ちゃん

二人のうちの実働部隊（おねだり）担当。

そのおっぱいと声とおっとり清楚な見た目で愛想を全方位に振りまくことで、男のツボを的確に突き、男をダメダメのよわよわの骨抜き鯖折りにして圧力鍋で味噌煮にして美味しく食べちゃう天然の人たらし。

掴みどころがなくどこまで計算でどこまで天然かが分からない。というより天然で計算してます。

自動計算ではじき出した結果が天然という天性の人たらし。

光ちゃんと異なり萌ちゃんは中高一貫の中からのエスカレーター組。それどころか幼稚舎からのエスカレーターにした方がやけにしっくりくるのは作者だけではないと思います

僕君

かわいくてわるーいお姉ちゃんたちに善意か下心か何を思ったか単なる募金だと思って近寄ってしまったとっても不幸でとっても幸運な男の子。今回様々な理由でかわいいという設定をつけくわえました。どうか皆さんこの作品の中ではかわいいを作ってください。

Nothing either good or bad, but thinking makes it so.

Decided it by your Gods only.

1章 よいこの募金

凡例

青字：状況説明、登場人物の動作や感情を表現したもの。イメージを補完のために残してあります。

scene1

（駅前にていつもの通りお財布を吟味する二人 ※少年の目線中心の位置配置になっています。）

光 ⇒ぼきーんぼきーんぼきーんお願いしまーす

萌 ⇒募金のご協力お願いしまーす♥

...って光ちゃんやる気なさすぎじゃないですかぁ〜？

光 ⇒だってさぁ真面目にやってさぁ〜

マジで募金する人いたらめんどくない？

「若いのに頑張ってるねぇ〜これ気持ちだけど...」

みたいな感じでおばあちゃんが募金してくれたところで...

「いや、うちら別にあんた相手にしたいわけじゃないんですけど」

ってならない？

萌 ⇒光ちゃんヒドイですよぉ〜♥

折角のご厚意なんですから、てきとーにありがとうございます♡

って言っとけばいいんですよぉ〜

光 ⇒そんな労力すらかけたくなーい！

さっさとちょろそうな金づるみつけて、

てきとーに弄んでとことん絞りっとなごっそりお金ほしーのー！！

萌 ⇒たしかにー♥

それで光ちゃん見つかりましたか〜？

お金もってそうでえ〜♥女の子に免疫なさそうな人♥

光 ⇒んにゃあ～

探してはいるんだけどね～これになっかなっかねえ～って...

ん？もえもえーその隣の子誰？

萌 ⇒隣？

んー？あらあ～？あらあら～？

(光ちゃん、少年の正面に移動する)

光 ⇒知ってる子？

萌 ⇒いやー？全くう♥

光 ⇒じゃ、なんだろうね？ねえ僕？うちらになんか用？

萌 ⇒萌たちにご用事ですかあ～♥

(かわいいお姉ちゃん二人に話かけられ恥じらいと喜びから紅潮させる少年)

光 ⇒あー♥照れてるーwwwかわいいー♥

萌 ⇒赤くなってますねえ～♥かわいいですねえ～♥

光 ⇒このまま持ち帰っちゃおっか♥

萌 ⇒それも悪くないですねえ～♥

(顔を見合わせて笑う二人)

光・萌 ⇒ふふふふふふwww

(少年がおずおずと差し出す手に握られていたのは1枚の 10円玉)

光 ⇒んー？ 10円？ってことは...

萌 ⇒もしかして僕、萌たちに募金してくれるんですかあ～♥

光 ⇒ほーらだから言ったじゃん♪もえもえー

萌 ⇒あーほんとですねえ～勘違いさせてしまいましたね～♥

光ちゃんごめんさあい♥

光 ⇒んー許す♪

だってこの子よさそうじゃない？もえもえ？

萌 ⇒んー？もしかして...光ちゃんこの子に募金させる気ですかー？

光 ⇒まあせっかく来てくれたし、かわいいし、ちょっといじわるしてあげない？

萌 ⇒そうですねえ～♥萌のせいでもありますしねえ～♥

何よりかわいいですし♥

でも光ちゃんいいんですかあ？

多分この子お金大してもってないですよ？

光 ⇒まゝお財布くんよりこの子の方が貴重だしー

何より募金は金額じゃないっしょ？

萌 ⇒そうでしたねー♥

じゃあこの子に募金してもらいましょうか？

光 ⇒ごめんねー僕ー♥

のけ者にしちゃって♥

お姉ちゃんたちに募金したいー？

(無言でしきりに頷く少年)

光 ⇒そっかー♥ありがとー♥

萌 ⇒やさしい子ですねえ〜♥

萌たちすごいうれしいですう〜♥

光 ⇒でも、もえもえーうちらがただで年下の子からお金もらうのはさすがにあれだよねー？

萌 ⇒そうですねー何かお礼しないといけませんね〜♥

光 ⇒そうそう♪

(光ちゃん、そう言いながら少年との距離を近づける)

光 ⇒お姉ちゃんたちがいっぱい、いい子いい子♥

(萌ちゃんも合わせて少年との距離を詰める)

萌 ⇒いっぱいえらーいえらーい♥

光 ⇒してあげるからー♥

萌 ⇒逃げちゃダメですよおー♥

光・萌 ⇒僕くん♥♥♥

(少年、すっかりお姉ちゃんたちに魅了され辛うじて残された力でゆっくり頷く)

光 ⇒はい決定♥じゃお姉ちゃんたちについてきて♥

萌 ⇒萌たちのおててつないでくれますかあ〜♥

ああ〜♥ふにふにしますねえ〜♥

光 ⇒ほんとだあ〜♥ふにふにやわらかーい♥

光・萌 ⇒かわいいー♥

光 ⇒ふふーん♪じゃあ行こっか

萌 ⇒そうですね♥

光・萌 ⇒せーの♥ご奉仕の世界へごあんなーい♥

改ページ

scene2

(二人につれてこられてやってきたのは人通りの全くない路地裏)

(不安から顔をこわばらせている一方お姉ちゃんたちの手の感触や匂い成熟した肉体を見ながら胸の高鳴りを抑えきれない様子の少年)

光 ⇒はい♥とうちゃーく♪

萌 ⇒ここなら誰にも邪魔されずお礼できますねー♥

光 ⇒お姉ちゃんたちとのお散歩楽しかったー？

萌 ⇒萌たちとおててにぎにぎ柔らかかったですかー？

光 ⇒お姉ちゃんたちからあまーくていい匂いしたー？

(少年、お姉ちゃんたちに内心を見透かされたような質問攻めを受けて顔をすっかり真っ赤にさせる)

(二人、少年の心をすっかり手玉にとったと確信するやいなや、ニヤニヤ余裕を見せながら少年を弄ぶ)

萌 ⇒...ってふふw光ちゃん大変ですよー♥

すごい顔赤くしちゃってますよ〜♥

光 ⇒ほんとだー♥熱でもあるんじゃないーい？

(光ちゃん、おでことおでこをひつつける) どれどれ〜♥

萌 ⇒(萌ちゃん、おでことおでこをひつつける) 大丈夫ですかー？

光 ⇒あーなんか段々熱くなってるねー♥もえもえー？

萌 ⇒うふふふ♥お耳のどこまでまっかっかですねー♥

どうしたんでしょうねー？光ちゃん？

光 ⇒もしかしてうちのせいかなー？

でもうちら、おててにぎにぎしながら歩いてただけだよねー？

萌 ⇒そうですよねー？ふー♥ふー♥ふふw大丈夫ですかー♥

光 ⇒うーん...あっ♪

萌 ⇒光ちゃん分かりましたー？

光 ⇒いやーわかんないけどー？

ほら♪うちらまだ、募金受け取ってあげてないじゃん？

駅から今までずっと、渡し損ねちゃってる状況なんだよねー♪

萌 ⇒あー♥確かにー♥募金もせずにー♥

萌たちからお礼もらっちゃったらおかしいですもんねー♥

光 ⇒そうそう♪

もしかして、お姉ちゃんたちに気づいて欲しくて、顔赤くしちゃってるのかなー？

萌 ⇒きっとそうですよー♥ごめんさあい♥

僕くん♥萌たち気づいてあげられなくてー♥

光 ⇒そっかー♪ありがと♥僕くん♥

お姉ちゃんたちに教えてくれて♥

萌 ⇒今募金させてあげますねえ〜♥

光 ⇒ほい♪それじゃこの箱にさっきの 10円入れて♥

萌 ⇒ここですよお〜♥こーこ♥

この中に入れてくださあい♥

光 ⇒君の 10円をしっかりと、お姉ちゃんの中に入れるんだよお〜♥

萌 ⇒奥までしっかり入れてくださあい♥

(少年、言われるがままされるがままにおぼつかない様子で 10円を箱の中に入れる)

光・萌 ⇒よくできました♥

光 ⇒うーん♥よしよし♥困ってる人を助けようとする僕くんかっこいいなあー♥

萌 ⇒まるでヒーローみたいですねえー♥光ちゃん♥

光 ⇒そうだねー♪

お姉ちゃんのこと助けてくれる、ヒーローくんにはどんなお礼したらいいのかなー？

萌 ⇒どんなお礼だったら喜んでくれるんですかねえ〜？

光 ⇒あっ♪

そのまっかっかのお顔冷ましてあげよ♥もえもえ♪

萌 ⇒萌たちのせいですもんね〜♥いいですねえ〜♥

光 ⇒はい決定♪

扇いで、僕君のその真っ赤なお顔冷ましてあげる♥

萌 ⇒仰ぐのはあ〜♥

光 ⇒お姉ちゃんたちのお〜♥

光・萌 ⇒スカート♥

萌 ⇒それじゃ僕君♥

萌達のスカートに顔、近づけてくださあい♥

(少年吸い寄せられるようにスカートに顔を近づける)

光 ⇒そうお姉ちゃんたちの間♥

うんうん♪その辺♥

お姉ちゃんの言うこと聴けてえらいぞー♥

萌 ⇒今そのお顔、冷ましてあげますね〜♥

光 ⇒もえもえいっくよー♪

萌 ⇒はあい♥

光・萌 ⇒せーの♥

光・萌 ⇒パータ♥パータ♥

(二人、スカートを大きくめくりあげ風を送る)

萌 ⇒パータ♥パータ♥涼しいですかぁ〜♥僕君♥

光 ⇒パータ♥パータ♥ひんやりしてきもちいいっしょ？

萌 ⇒パータ♥パータ♥

光 ⇒パータ♥パータ♥

(二人、予想通り少年が下着にくぎ付けになってることに気づきひそひそと話す)

萌 ⇒ふふ♥光ちゃん？

光 ⇒ふふ♥もえもえも気づいた？

萌 ⇒もちろん♥やっぱり男の子ですねえ〜♥

光 ⇒そうだねえ♥ってかめっちゃかわいくない？

萌 ⇒かわいいですねえ〜♥

光 ⇒あれえ？僕君♥どこ見てるのかなぁ〜♥

萌 ⇒さっきから僕君と目が合わない気がするんですけどぉ〜♥

なに見てるんですか〜？

光 ⇒なんかぁ♥

お姉ちゃんたちのスカートの方ばっか見てる気がするんだけどぉ〜♥

気のせいかにゃ〜？

萌 ⇒ふふw何か珍しいものでもあるんですかねえ〜？

光 ⇒うーんwわっかんないなぁ〜♥

萌 ⇒あっ光ちゃん♥一緒に当ててみませんか？

光 ⇒ いいねー♪ それ〜♥

僕君が夢中になってるもの、お姉ちゃんたちが当てていい?♥

萌 ⇒ 当たったら、素直に頷いてくださいね?♥ 僕君♥

光 ⇒ じゃあ試しに、スカートの仰ぎ方変えてみよっか? もえもえー?

萌 ⇒ そうですね〜♥ 何か分かるかもしれませんね〜♥

光 ⇒ ちょっと小刻みにして、扇ぐの抑えてみよっか?

パタパタパタパタ あ〜♥

萌 ⇒ そうですねえ〜♥

パタパタパタパタ あ〜♥

(二人、パンツが見ないようにすごく小さく小刻みにスカートを仰ぐ)

萌 ⇒ ふふw 光ちゃんなんかちょっと、しょんぼりしてるように見えません?

光 ⇒ 確かに〜♥

見たかったものが見えなくなっちゃのかなあ〜?

萌 ⇒ 萌たちまた悪いことしちゃいましたかねえ〜?

光 ⇒ ってことはあ〜♥

スカートが捲れなくて見れなくなるもの〜?♥

これで分かるー? もえもえー?

萌 ⇒ うーん♥ これだけじゃまだわかりませんね〜♥

少なくともスカートではないみたいですけどねえ〜♥

光 ⇒ そうだねー?

じゃあ今度は段々おーきく扇いでみよっか? もえもえ♥

萌 ⇒ そうですねー♥ ぱたぱたぱたぱたぱたぱた あ〜♥

光 ⇒ ぱたぱたぱたぱたぱた あ〜♥

萌 ⇒ ふふw 光ちゃん♥ なんだかスカートめくれるほど幸せそうに見えませんか?

光 ⇒ ふふw 確かに♪ ってことはー♥

スカートがめくれるほどー♥ 僕君の见たいものが見えるってことだよねえ〜♥

萌 ⇒ あーw 萌やっとわかりましたよー♥

光 ⇒ ふっふーん♪ 実はこちらもお〜♥

じゃあせーのと言おっか♪ もえもえ♪

萌 ⇒ りょーかい♥

光 ⇒僕君があ〜♥

萌 ⇒くぎ付けになってたのはあ〜♥

光・萌 ⇒せーの♥

光・萌 ⇒お・ぼ・ん・つ♥

光 ⇒だよねえ〜♥

萌 ⇒ですよねえ〜♥

萌 ⇒あってたらあ〜素直に頷いてくださあいねえ♥

光 ⇒お姉ちゃんたちのおぼんつ見てたんでしょ〜？

(言われるがままゆっくりうなづくことしかできない少年)

光 ⇒うんうん、そうかそうか〜♥

お姉ちゃんたちのおぼんつ見てたんだあ〜♥

萌 ⇒エッチな子ですねえ〜♥むつつりさんですねえ〜♥

光 ⇒お姉ちゃんたちのおぼんつに興味あんの〜♥？

萌 ⇒萌たちのおぼんつ見たいですかあ〜♥

光 ⇒もっと見せてあげてもいいけどお〜♥

萌 ⇒その代わりい〜♥

光 ⇒ぼ・き・ん♥

萌 ⇒萌たちにしてくれませんかあ〜♥

光 ⇒僕君はお姉ちゃんのおぼんつのために、いくらで募金してくれるのかなあ〜♥

萌 ⇒むつつりさんの僕君はー♥萌たちにいくら募金してくれるんですかあ〜♥

光 ⇒いっぱいくれるとーお姉ちゃんたち嬉しいなー♥

萌 ⇒萌たちを悦ばせてくれませんかー♥

光 ⇒お姉ちゃんたちのエッチなおぼんつもっと見たいよねえ〜♥

萌 ⇒だったらー♥お財布出してください♥僕くん♥

光 ⇒じゃないとお姉ちゃんたち帰っちゃうよー♥僕君♥

萌 ⇒ふふーん♥出せましたねー♥

光 ⇒男の子って感じのお財布ー♥

かわいくなーい？ もえもえー？

萌 ⇒確かにwそういうお財布の男の子多かったですよー♥

じゃあその中身♥

ゼーんぶ♥箱の中に入れてくれますか〜♥

光 ⇒そしたらぁ〜♥

お姉ちゃんたち、おぼんついっぱい見せてあげる〜♥

萌 ⇒それにい〜♥

さっきからおっきくさせてる、おちんちん♥

萌たちの前でシコシコしてもいいですよぉ〜♥

光 ⇒ほんとだぁw

ズボンのとこ膨らんでるぅ〜♥

もうちんちんおっきくなっちゃうこと知ってるんだぁ〜♥

萌 ⇒しかも僕君♥

今、萌の **シコシコ** って言葉に反応しましたよねえ〜？

光 ⇒ってことはぁ〜♥

僕君もしかしてえ〜♥

オナニーしたことあるってことかにゃ〜♥？

あーw恥ずかしがってるかわいいー♥

萌 ⇒恥ずかしがらなくいいんですよぉ〜♥

男の子だったら当たり前のことなんですよぉ〜♥

光 ⇒むしろお姉ちゃんたちで興奮してくれてえ〜♥

すっごく嬉しいなぁ〜♥

萌 ⇒募金してー♥萌たちをもっと悦ばせてくれませんかー？

光 ⇒そしたらー♥僕君もいっぱい幸せになれるよー♥

ね♪だからー♪

この中にー♥全部入れちゃお♪

萌 ⇒はーい♥お財布あけてくださーい♥

光 ⇒あっ♪お札あるんだー♥お金もちだねえ〜♥

萌 ⇒じゃあそのお札からいれていきましょうか♥

光 ⇒三枚あるから一緒に数えながら入れてこっか？

準備はいい？じゃあいくよー♥

光・萌 ⇒いちまーい♥

萌 ⇒次〜♥

光・萌 ⇒にまーい♥

光 ⇒最後♥

光・萌 ⇒さんまーい♥

萌 ⇒あーあ♥全部入っちゃいましたね〜♥

光 ⇒大事なお札、お姉ちゃんたちにくれるなんてえ〜♥

僕君すっごいやさしいね〜♥

お姉ちゃんそういう男の子だあい好き♥

萌 ⇒萌も僕君のことー♥すっごい好きですよお〜♥

光 ⇒だからついでに小銭もいれちゃおっかー？

萌 ⇒入れちゃいましょうよお〜♥

萌たちの中にい〜♥小銭♥

光 ⇒はあい♥じゃんじゃんだしてえ〜♪

萌 ⇒この箱の中にゼーんぶいれちゃいましょうね〜♥

(少年、地滑りがごとく小銭をじゃらじゃらと入れる)

光 ⇒全部入ったかな〜♥

萌 ⇒1円残らずはいりましたねえ〜♥大変よくできました〜♥

光 ⇒えらいぞ〜♥じゃあうちらもお礼言わないとね♥

萌 ⇒そうですね〜♥僕君♥募金してくれてえ〜♥

光・萌 ⇒ありがと♥

光・萌 ⇒チュッ♥

光 ⇒もうお姉ちゃんたちにメロメロだねえ〜♥僕君♥

萌 ⇒もう僕君は萌たちのものですよお〜♥

光 ⇒そうそう♥

だって僕君の大事なお金ゼーんぶうちらのものになっちゃったもんねー♥

萌 ⇒なのでお約束通り、萌たちのおぱんつ見せてあげますねー♥

光 ⇒だから僕君はあ〜♥

お姉ちゃんたちのおぱんつに夢中になって、おちんちんシコシコしてねー♥

ってことでズボン下ろして♥僕君♥

萌 ⇒萌たちにおちんちんみせてくださいよお〜♥

光 ⇒お姉ちゃん僕君のおちんちん見たいなあ〜♥

(少年、羞恥を感じながらズボンおよび下着を脱ぐ。)

萌 ⇒ あー♥かわいらしいちんちんしてますねー♥光ちゃん♥

光 ⇒ そうだねー♥大人の人のだったら笑っちゃうかもーw

かわいいー♥

萌 ⇒ ピクピク♥

萌達にご挨拶してますよ〜♥

かわいいですねえ〜♥

光 ⇒ ほんとー♥かわいいねー♥

これでうちのパンツ見せたらどうなっちゃうだろうねー？

萌 ⇒ どうなっちゃうんでしょうねー？

シコシコシコシコ♥

おててが勝手に動きだしちゃうかもしれませんねー♥

光 ⇒ ふふwちょっと見せてあげよっか♥もえもえ♥

萌 ⇒ りょーかい♥

光・萌 ⇒ せーの♥ちらっ♥

光 ⇒ お姉ちゃんのパンツ見える？

僕君はこれが見たかっただよねえ〜♥

萌 ⇒ ほらぁ〜♥萌のおぱんつみてえ〜♥

ちんちんにぎにぎシコシコしていいんですよお〜♥

光 ⇒ そうそう♥お姉ちゃんのおぱんつ見ながらー♥

しーこ♥しーこ♥

萌 ⇒ なんて萌たちのおぱんつ見るとおちんちん硬くなっちゃうでしょうねえ〜♥

不思議ですね〜♥しーこ♥しーこ♥

光 ⇒ ほらほら僕君見てえ〜♥

お姉ちゃんのおぱんつここ♥

リボンついてるんだよお〜♥かわいいっしょ♥

萌 ⇒ ふふ一生懸命シコシコかわいいですねえ〜♥

僕君♥

萌のおぱんつも見てくださいよお〜♥

ほらこの下着猫ちゃんがいっぱいいるんですよお〜♥

ここほら猫ちゃんの耳になってるんですよお〜♥

ほらぁ〜♥かわいいですよねぇ〜♥

光 ⇒ えっ!?!マ?

萌 ⇒ マジです♪ほら♪

光 ⇒ あっほんとだぁ〜♥

もえもえのやつかわいい〜♥いいなぁ〜♥

うちもほしいー♥

萌 ⇒ あとで買いにいきましょう♥光ちゃん♥

光 ⇒ そうだねー僕君のお金、お姉ちゃんのおぱんつに使わせてもらうねー♥

萌 ⇒ いいですよねー? 僕君♥

光 ⇒ うんうん♥頷きながら必死にシコシコ♥

男の子って何歳でも変わんないねー♥

萌 ⇒ そうですねえ〜♥

僕君もその辺のお財布さんみたく、頭おばかさんになってちんちんシコシコ♥

そんなにきもちいいんですかねえ〜?

光 ⇒ はたから見るとすごいまぬけだよね〜♥

どんだけ鍛えてもー♥

どんだけ頭良くてー♥

ちんちん握られちゃうだけで女の子に負けちゃうわけじゃん?

萌 ⇒ そうですねえ〜♥

僕君にとっていいお勉強になってるといいですねえ〜♥

光 ⇒ そうだねえ〜♥

僕分かるかな〜?

分からないなら教えてあげるね♥

男の子はぁ〜♥

女の子に勝てないんだよ〜♥

萌 ⇒ もっというとお〜ちんちんシコシコしちゃうとお〜♥

男の子はよわーいよわーい♥生き物になっちゃうってこと♥

分かりましたかぁ〜?

光 ⇒ そっかそっか♥わかっちゃったかー♥

賢いね〜♥

賢いから〜もっとシコシコしてバカになってねっ♥

萌 ⇒お利巧さんな僕くんのために、萌お尻の方見せてあげますね〜♥

(萌ちゃん、後ろに振り向き、スカートを大きくめくり臀部を露わにする。)

ほおら♥萌のお尻ですよお〜♥

ぷにぷにですよお〜♥

柔らかいですよお〜♥

ほら左手出してください♥

触らせてあげますよー♥

(萌ちゃん、少年の左手をとり臀部をまさぐらせる。)

(光ちゃん、負けじと下着を喰い込ませて少年の注目を集め興奮を煽る。)

光 ⇒うちはあ〜♥こーしてえ〜♥

おぱんつひっぱってえ〜♥喰い込ませてえ〜♥

ほらあ僕〜♥

お姉ちゃんのおぱんつの中がー♥見えそうだねえ〜♥

萌 ⇒僕くーん♥萌のお尻ですよお〜♥

お尻ふーりふーり♥

お姉ちゃんのお尻見て萌のお尻目掛けてえ〜♥

ちんちんシコシコしてくださーい♥

光 ⇒僕君♥

光お姉ちゃんのおパンツの中の方がいいよねえ〜♥

お姉ちゃんのおパンツの中見えそうで見えないねー♥気になってシコシコ止まんないね〜？

お姉ちゃんのココ見ながらシコシコ〜ってするんだよ♥

光・萌 ⇒ほーら♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥

光 ⇒んー？イっちゃいそう？

お姉ちゃんたちのおぱんつ見て頭とろーんってなっちゃう？

萌 ⇒僕君のちんちんからあー♥しろくてどろーっとしたものがでちゃうんですかあ〜♥

光 ⇒ザーメンでちゃうんだー♥白いおしっこぴゅっぴゅっしちゃうんだー♥

いいんだよ♥

男の子はそれを出すために生きてるんだから♥

萌 ⇒だからぁ〜♥萌たちのエッチな姿見ながら〜♥

いっぱいびゅっびゅっしましょうねぇ〜♥

光 ⇒ほーら♥シーコ♥シーコ♥

お姉ちゃんのおまんこみていっちゃえ♥

萌 ⇒シーコ♥シーコ♥

萌のお尻見てびゅっびゅっしちゃってくださいあい♥

光 ⇒お姉ちゃんにイッてるお顔見せて♥

萌 ⇒萌にちんちんから白いの出すところ見せてくださいあい♥

光 ⇒ね？おねがい♥♥♥

萌 ⇒おねがいしまーす♥♥♥

（少年、たまらず精を吐き出す。顔を上気させ夢と現実の区別がつかないほど朦朧としている）

光 ⇒見てえ〜♥もえもえ〜♥僕君イッてる〜♥

そこらの財布よりよっぽどかわいくなーい？

（萌ちゃん、正面を向き直し少年に近づき彼の表情を満足そうに眺める）

萌 ⇒ほんと幸せそうですね〜♥

見てるこっちまで幸せになっちゃいますね〜♥

僕くーん♥萌の顔見えますかぁ〜♥

（少年、萌の方へ顔を向ける。）

あはっ♥こっち見てますう〜♥

光 ⇒ちょっとうちも見たいー♥

僕君♥

こっちみて♥

（少年、光の方へ顔を向ける。）

あーもう♥

とろんとしちゃってるかわいいなぁ〜♥

萌 ⇒お射精気持ちよかったですかぁ〜♥

光 ⇒お姉ちゃんに手伝ってもらおうオナニー気持ちいいよねえ〜♥

またやりたい？

そうだよねぇ〜♥オナニー気持ちよかったもんねぇ〜♥

萌 ⇒でもそんな気持ちのいいオナニーができたのはー♥

萌たちが僕君に募金させてあげたからなんですよぉ〜♥

光 ⇒僕くんがまたお姉ちゃんたちに「気持ちよくされたーい♥」って思ったら

お姉ちゃんたちにお願ひしにくるんだよ♥

萌 ⇒わかりましたかぁ〜？

光 ⇒わかったかなぁ〜？

光・萌 ⇒お・へ・ん・じ♥

光 ⇒よしよし♥えらいねー♥約束だよ♥僕君♥

萌 ⇒約束ですよぉ〜♥僕君♥

光 ⇒んじゃおいとましょっか♥もえもえ♥

萌 ⇒そうですねえ〜♥楽しかったですよ♥僕君♥

光 ⇒募金もありがとねー♥またお姉ちゃんと遊ぼうねー♥

光・萌 ⇒ばいばーい♥

改ページ

2章 ゐるいにの募金

scene1

（スーパーもしくは商店街の一角などを想定、そこでおつかい中の少年）

（人ごみから声がする。聞くだけで胸が高鳴り思考が散乱してしまう魅力的な声が、）

光 ⇒ あー♪もえもえー♪あの子だー♥

萌 ⇒ んー？あの子ー？どの子ですかー？

光 ⇒ ほらこの前募金させてあげた♥

萌 ⇒ あー♥あの子ですかー♥どこですー？

光 ⇒ もえもえのしょうめーん♥

萌 ⇒ んー...？あー♥ほんとだー♥ほんとですねえ♥

（二人、少年接近する。）

萌 ⇒ またお会いしましたね〜♥

覚えてますかぁ〜♥

萌ですよぉ〜♥

光 ⇒ 光お姉ちゃんですよぉ〜♥僕くんひどーい♥

ねー？もえもえー？

萌 ⇒ そうですよー♥

あれから一回も萌たちに募金しにきてくれないじゃないですかぁ〜♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちのこときらい？

萌 ⇒ きらいですかぁ〜？

光 ⇒ ふふw僕君困ってるー♥

萌 ⇒ 分かってますよー♥萌たちのこと嫌いじゃないですよねー♥

光 ⇒ その反応で許してあげる♥

んで僕くんは何してたのかにゃー？

萌 ⇒ んー？あぁー♥もしかしておつかいですかぁ〜♥

えらいですねえ〜♥いい子ですねえ〜♥

光 ⇒ ママから頼まれたんだぁ〜♥

じゃあお姉ちゃんたち邪魔しちゃったかなあ〜？

萌 ⇒萌たち僕君と今から遊びたいんですけどお〜♥ダメですかあ〜？♥

光 ⇒お姉ちゃんたち〜♥僕君と遊びたいなあ〜♥ねえ〜いいでしょ〜♥

萌 ⇒見てください光ちゃん♪僕君すごい困ってますねえ〜♥

光 ⇒ほんとだ♪

光・萌 ⇒かわいいー♥

光 ⇒でもでもお〜♥おつかいはお姉ちゃんと遊んでからでもできるよね〜♥

萌 ⇒萌たちは今、僕と遊びたいですよお〜♥

光 ⇒いいでしょ？僕♥

萌 ⇒いいですよねえ〜♥

光・萌 ⇒ねえ〜♥？

萌 ⇒きまりですねえ〜♥えらいですねえ〜♥

光 ⇒じゃあお姉ちゃんたちと、この前のところ行こっか♥

萌 ⇒また萌たちとおててにぎにぎしましょうねえ〜♥

光 ⇒お姉ちゃんの手にぎにぎしようねえ〜♥

萌 ⇒はいしゅっぱーつ♥

scene2

(三人、他愛もない話をしながら以前訪れた路地裏へやって来る)

萌 ⇒ へー♥算数のテストあったんですかぁ〜♥

光 ⇒ んでどうだった？ん？結果だよ結果♪

お姉ちゃんに教えて♪

うんうん♪

ふーん♪あんまできなかつたんだー♪

もしかして僕君、算数苦手？

うんうん♪

そっかぁ♥そうなんだー♥

じゃあじゃあ♪

お姉ちゃんが今度算数教えてあげよっか♥

萌 ⇒ よかったですねえ〜♥

光ちゃんすごいお勉強できるんですよぉ〜♥

んー？萌ですかぁ〜♥

んふふふふ〜♥ふふふふ〜♥秘密でえす♥

光 ⇒ あーもえもえずるーい！

ねえねえ聞いて僕君？

萌お姉ちゃんねー、うちがなんとかしてあげないと毎回あかて...

萌 ⇒ (萌ちゃん、光ちゃんの声さえぎる) はあい着きましたよぉ〜♥

光 ⇒ さーえーぎーるーなー！

萌 ⇒ いいじゃないですかぁ〜♥

そんなことぉ〜♥

それより〜僕君と遊びましょうよぉ〜♥

光 ⇒ うー確かにい〜そうだけどぉ〜.....

萌 ⇒ ほら僕君も遊びたくてそわそわしてますよぁ〜♥

してあげましょうよぉ〜♥

光 ⇒ あー♥ほんとだぁ〜♥

僕君もぞもぞしてるぅ〜♥

お姉ちゃんたちと、エッチなことしたくてたまらないんだー♥

(萌ちゃん、少年との距離を縮め囁く)

萌 ⇒僕君♥前回お姉ちゃんがしてくれたこと覚えてますか？

(光ちゃん、少年の後ろにまわり込み囁く)

光 ⇒うんうん♥そうそう♥

お姉ちゃんたち、僕君におぼんつ見せてあげたよねえ〜♥

萌 ⇒それをみた僕君はこーふんしてえ〜♥

おちんちん上下にシコシコ♥シコシコ♥

光 ⇒シコシコしちゃった僕くんはぁ〜♥

気持ちよすぎてちんちんからザーメンびゅーびゅー♥

萌 ⇒おもらししちゃったんですよええ〜♥

萌 ⇒恥ずかしいですねー♥

今回は萌たちに何されちゃうんですかねえ〜♥

光 ⇒今回はねえ〜♥

サンドイッチ作ろうと思うんだぁ〜♥

お姉ちゃんたちがパンで僕君が具材♥

萌 ⇒分かりませんかぁ〜？

光 ⇒っていうかー♥もう完成してるんだよ♥

萌・光 ⇒サンドイッチ♥

萌 ⇒前が萌でえ〜♥

光 ⇒後ろが光お姉ちゃん♥

この状態で僕君をぺっちゃんこ♥

萌 ⇒萌たちのいい匂いで頭いっぱいになっちゃいますねえ〜♥

光 ⇒お姉ちゃんたちのやわらかーい体が僕に当たってえ〜♥

ふにゃふにゃになっちゃうねえ〜♥

萌 ⇒これから僕君のためにいろいろしてあげようと思うんですけどぉ〜♥

光 ⇒その前にい〜♥

光・萌 ⇒ぼ・き・ん♥

萌 ⇒しまししょうねえ〜♥

光 ⇒お姉ちゃんたちが、ただでやってくれると思ってたかなあ〜♥

萌 ⇒そんなわけではないですよねえ〜♥

萌たちはあ〜♥

募金した人を気持ちよくしてあげてるんですよ〜♥

光 ⇒それは僕君だって一緒♥びょーどう♥

僕君が募金してくれたでしょ？

あれお姉ちゃんすっごく嬉しかったなあ〜♥

僕君もそうでしょ？

萌 ⇒だから萌たちが募金させてあげますよお〜♥

光 ⇒お金？

あるでしょ？

僕君お姉ちゃんに会った時何してたかな〜？

萌 ⇒おつかいですよねえ〜♥

おつかいってことはあ〜♥

ママから預かってますよねえ〜♥お金♥

光 ⇒ママからあずかった大事なお金♥

それでお姉ちゃんたちに募金できるよねえ〜♥

萌 ⇒優しい僕君ならあ〜♥

できますよねえ〜♥

光 ⇒しかもお〜♥

今回は前みたいに箱にお金いれるんじゃないんだよー♥

萌 ⇒萌に入れるんですよー♥

光 ⇒萌お姉ちゃんのおっぱい大きいよねえ〜♥

萌お姉ちゃんのおっぱいいっぱい見たいよねえ〜♥

もえもえ〜♥

僕君におっぱい見せてあげて♥

萌 ⇒はあい♥

いいですよー♥

(萌ちゃん、徐に制服のボタンを上から開け始める)

萌 ⇒ん♥僕君この前もおパンツだけじゃなくて萌のおっぱい見てましたよねえ〜♥
っ♥

(萌ちゃん、制服を観音のように左右に広げておっぱいをつまびらかに見せてあげる)

萌 ⇒はあい♥僕君♥萌の大きなおっぱい見えますかぁ〜♥

光 ⇒もえもえのおっぱい触りたいよねえ〜♥

特に、ここ♥おっぱいとおっぱいのあいだにい〜♥

おてて入れてみたいよねえ〜♥

萌 ⇒だったらぁ〜♥このおっぱいの間にい〜♥

ママから預かったお金入れましょうよぉ〜♥

光 ⇒そしたらぁ〜♥僕君も〜♥お姉ちゃんたちも♥

幸せになれるんだよぉ〜♥

萌 ⇒ポケットの中にあるお金を出してくださいぁい♥

光 ⇒出せたねえ〜♥えらいえら〜い♥

そしたらそれをお〜萌お姉ちゃんのおっぱいに入れちゃおっか♥

萌 ⇒ここですよぉ〜♥ここ♥

このやわらか〜い萌のおっぱいにい〜♥

ママから預かったお金♥ぱっくんさせるんですよ〜♥

光 ⇒おてておっぱいに近づけてえ〜♥もっとお〜♥

萌 ⇒もっとお〜♥もっと近くにきてくださいぁい♥

光 ⇒そのまま萌お姉ちゃんのおっぱいさわってえ〜♥

谷間の奥にい〜♥お金入れようねえ〜♥

萌 ⇒やぁん♥僕君のおててふにふにですねえ〜♥

でもお〜ふにふになら萌のおっぱいの方が上ですよぉ〜♥

ほらぁ〜♥むにむに〜い〜♥

僕のおててもお金も萌のおっぱいがたべちゃってますよぉ〜♥

もぐもぐう〜♥

光 ⇒僕のおててお姉ちゃんに食べられちゃってるねえ〜♥

どんどん食べられたくなっちゃうねえ〜♥

萌 ⇒やぁん♥

どこ触ってるんですかぁ〜？

変なとこ触らないでくださいぁい♥

ダメですよぉー♥ちゃんと募金してくださいーい♥

光 ⇒僕君のエッチ♥すけべー♥へんたーい♥

そんな僕君も悪くないけどー

ちゃんと募金はしなきゃダメだよー♥

もうそのお金はお姉ちゃんたちのものでしょ？

萌 ⇒萌たちのものですよねぇ〜♥

光・萌 ⇒ねぇ〜？

萌 ⇒はあい♥募金♥ごちそうさまでした♥

ママからのおつかい代上手に募金できましたねー♥

偉いですねー♥

光 ⇒ママからの頼みごとよりい〜♥

お姉ちゃんたちの方が大事だよねー？

うんうん♪そうだよねー♥

そんな僕のこともお姉ちゃんだーいすき♥

萌 ⇒もちろん萌も大好きですよぉ〜♥

だからこーしてもっと好きになってもらうためにー♥

僕君をサンドイッチにしてるんですよぉ〜♥

光 ⇒僕君、リバーシってしてる？

それと一緒にお姉ちゃんたちに挟まれたらぁ〜♥

頭お姉ちゃん一色になっちゃうんだよぉ〜♥

萌 ⇒頭だけじゃなくてー♥

体もお姉ちゃんのものになっちゃうんですよぉ〜♥

光 ⇒っていうかぁー♥

もうなってるんじゃないかなぁ〜？

お姉ちゃんたちのおっぱいに挟まれてえ〜♥

萌 ⇒やさーしくこしょ♥こしょ♥こしょ♥こしょ♥って囁かれてたらぁ〜♥

ちんちん反応しちゃいますよねえ〜♥

萌が気づいてないと思ってましたかー？

萌の太ももさんにい〜♥

僕君のかわいくおっきくなったおちんちんが当たってますよー♥

光 ⇒分かったかなー？

僕君の体はお姉ちゃんたちの体に負けちゃってること♥

お姉ちゃんたちの言いなりになった僕君に命令♥

おばんつぬぎぬぎしちゃおっか〜♥

萌お姉ちゃんの太ももさんに直接ちんちんおしつけた方が気持ちいいにきまってる
よねえ〜？

あっ♥でも♥

一応萌お姉ちゃんにお願いしてみよっか♥

萌お姉ちゃん♥

『お姉ちゃんの太ももに僕のおちんちん直接押し付けていいですかぁ〜♥』って

萌 ⇒んー？何ですか？僕君♥

何か言いたいことでもあるんですかぁ〜？

光 ⇒ほら言っちゃえ♥

(少年、萌に対して陰茎を直接擦り付けることを懇願)

萌 ⇒えー♥

萌の太ももに直接おちんちんこすりつけたいんですかぁ〜♥

どうしましうかねえ〜♥

もし萌がダメって言ったらぁどうしますう〜？♥

光 ⇒どうなっちゃうんだろうね〜♥

(萌ちゃん、少年の後ろ側にいる光に耳打ちする。)

萌 ⇒ふふ♥光ちゃん僕君の顔みてくださいいよお〜♥

(光ちゃん、少年の顔を覗く)

光 ⇒うーん？あはっ♥困ってる♥困ってる♥かぁいいなぁ〜もう♥

萌 ⇒そんな顔されちゃうと〜♥

もっといじわるしたくなっちゃいますよねえ〜♥

光 ⇒そうだねえー♥

もっといじわるしてあげよっか♥

ねっ？もえもえー♥

萌 ⇒りょーかーい♥

僕君♥聞いてくださあい♥

光ちゃんとお話した結果、

おぱんつを脱ぐことはおあずけすることになりましたぁ〜♥

光 ⇒んー♥そんな顔しないのお〜♥

その代わりい〜♥

お姉ちゃんが気持ちいいことしてあげる♥

ちんちんだけが男の子が気持ちよくなる場所じゃないんだよー？

ねえ？僕君は考えたことあるかなー？

男の子の乳首ってなんのためにあるかってこと♥

萌 ⇒今から萌たちが教えてあげますねー♥

光 ⇒お姉ちゃんが気持ちよくしてあげる♥

僕の乳首どこにあるのかなぁ〜♥

さすさすう〜♥ここかなぁ〜♥

ここらへんだと思うんだけどなぁ〜♥

萌 ⇒体びくびく動いちゃいますね〜♥

光ちゃんのおててくすぐったいですかぁ〜♥

でもどこにあるんですかねえ〜♥

僕君♥僕君♥僕君の乳首教えてくれませんかぁ〜♥

光 ⇒僕君の指で自分の乳首指さしてえ♥

お姉ちゃんたちに教えてくれるかなぁ〜♥

萌 ⇒できますかぁ〜？

光 ⇒できるよねえ〜？

光・萌 ⇒僕君♥

光 ⇒へえ〜♥そこが乳首なんだぁ〜♥

萌 ⇒あーあ♥

恥ずかしいことなのに自分で教えちゃいましたねえ〜♥

光 ⇒はづかちいねえ〜♥

でもせっかく教えてくれたからもっと恥ずかしくしちゃうね♥

人差し指でくーる♥くーる♥くーる♥くーる〜♥

この円の真ん中にい〜

僕君のかわいい乳首があるんだねえ〜♥

くーる♥くーる♥

萌⇒くすぐったいですかあ〜?

お顔に出てますよお〜♥

もう光ちゃんはいじわるですねえ〜♥

いいこいいこー♥

僕君のこと助けてあげたいところなんですけどー♥

でもですねー僕君♥

萌もいじわるしちゃいますねー♥

(萌ちゃん、少年を胸にうずめる。)

萌⇒はい♥萌のおっぱいにむぎゅう〜♥

むぎゅうむぎゅうむぎゅう〜♥

暴れちゃダメですよー♥

萌のおっぱいが僕君の居場所ですよー♥

光⇒はい♥動かないでー♥

くーる♥くーる♥くーる♥

いじわるなお姉ちゃんでごめんねえ〜♥

でもおお姉ちゃんねー

僕君のことイジメるのだから好きなの〜♥

くーる♥くーる♥

そんなお姉ちゃんのこと嫌いになっちゃうかなあ〜♥

萌⇒ふふ♥

光ちゃんそんなことないみたいですよお〜♥

おっぱいの中で首必死に横に振ってくれてますよお〜♥

光⇒ほんとお〜?

よかったあ〜♥

じゃあもっと虐めちゃうね〜♥

ちーくーび♥

つーんつん♥

ここが僕の乳首だよねえ〜♥

つーんつーんつん♥

どう？あってるよね？

萌⇒あー♥今度は首を縦に振ってますねえ〜♥

光⇒当然だよなー♥

だって僕君が教えてくれたもんねー？

つーん♥つーん♥どう？乳首ってきもちいいでしょー？

萌⇒ふふふ♥さっきより必死に頷いてますよお〜♥

でも光ちゃん♥

光⇒んー？

萌⇒僕君が頷いてるのって〜

おっばいにお顔にこすりつけたいだけかもしれませんよお♥

光⇒はぁ？そんなわけないじゃーん♥

ね？僕君♥お姉ちゃんのつんつんがしゅきなんだよねー？

(萌ちゃん、おっばいを上下に揺らしながら、)

萌⇒違いますよねー？僕君♥

光ちゃんの乳首つんつんよりも〜♥

萌のたゆんたゆんのおっばいさんの方が気持ちいいですよねえ〜♥

むにむに♥むぎゅううう〜♥

(少年、おっばいの動きに合わせて自然と頭が上下に動いてしまう)

光⇒むー！！お姉ちゃん焼きもち妬いちゃうぞー！

いいのー？いいんだー♥

じゃあ僕君の乳首つねっちゃう♥

むぎゅう〜♥

そんでひっぱちゃーう♥

ぎゅうううううう〜♥

萌⇒ふふふ♥びくんびくん♥

体跳ねちゃってえ〜♥

ダメじゃないですかあ〜♥

萌のおっばいからは逃げられませんよお〜♥

萌⇒むぎゅうぎゅうぎゅうの.....

ぎゅううう〜♥

光 ⇒くーる♥くーる♥くーる♥くーる♥くーる♥ぎゅっ♥

くーる♥くーる♥こーり♥こーり♥つんつん♥ぎゅっ♥

あはははw

僕くんの乳首弄るのたのしいー♥

萌 ⇒だーかーらぁ〜♥

萌のおっぱいから離れちゃダメじゃないですか〜♥

もっとしっかり、萌の腰にしがみついてくださいよぉ〜♥

光 ⇒つんつん♥

お姉ちゃんに乳首いじられるの気持ちいいねえ〜♥

萌 ⇒むにむに♥

お姉ちゃんのおっぱい柔らかいですねえ〜♥

光 ⇒くーるくーる♥

焦らされて頭おかしくなっちゃうねえ〜♥

萌 ⇒むぎゅ♥むぎゅ♥

萌の匂いでふわふわしちゃいますねえ〜♥

光 ⇒こりこり♥かりっ♥

気持ちよすぎて体カクカクしちゃうねえ〜♥

萌 ⇒ぱふぱふ〜♥

でもお射精はできないですねえ〜♥

光 ⇒くりくり♥

おちんちんも気持ちよくなりたいよねえ〜♥

萌 ⇒萌の太ももにおちんちんカクカクパンパンしたいですよええ〜♥

光 ⇒おズボンぬぎぬぎしたいよねえ〜♥

じゃあ.....

光・萌 ⇒ぼ・き・ん♥しましゅうねえ〜♥

光 ⇒んー？ どうしてのー僕？ また困りごとかにゃ〜？

萌 ⇒なにに困ってるんですかねー？

んふふふ〜♥萌たちに相談してくださいよぉ〜♥

光 ⇒んー？ 言わないと乳首ひっぱっちゃうぞー♥うりゃ♥

萌 ⇒ふふふ〜♥もしかしてー♥

お金ですかー？

さっきの募金がー♥僕君の全部だったんですかー？

光 ⇒そっかー♥

ママからもらったお金が全部だったんだー♥

それはざんねんだねー♥

萌 ⇒募金できないんだったらあ〜♥

萌の太ももにおちんちんパンパンできませんねえー♥

光 ⇒でも僕君はお射精したいんだよね〜？

おちんちん気持ちよくなりたいたいよねえ〜？

お姉ちゃんたちに気持ちよーくされたいんだよね〜？

うんうん♥そっかあ〜♥

そうだよねえ〜♥

じゃあ光お姉ちゃんが助けてあげよっか♥

助けてほちい？♥

萌 ⇒ふふ♥

よかったですね〜

光ちゃんが助けてくれるみたいですよお〜♥

どうやって助けてくれるんでしょうね〜？

(光ちゃん、ポケットから財布を取り出すとそれを少年の前にぶら下げるようにかざす)

光 ⇒ふっふーん♥

これ♪お姉ちゃんのお財布ね♥

この中のお金♥僕君に使わせてあげる♥

萌 ⇒光ちゃんのお金使えばおちんちん気持ちよくできますよお〜♥

よかったですね〜♥

光 ⇒ほら♥お姉ちゃんのお財布開けていいよ♥

いっぱい入ってるっしょ♥

それ全部使っていいからねえ〜♥

萌 ⇒それでえ〜♥

僕君は萌の太ももすりすりにー♥

いくら募金してくれるんですかぁ〜♥

光 ⇒んー？一万円でいいのー？

たった一万円なのー？

萌 ⇒それだけですかぁ〜？

僕君のお射精したいって気持ちはー♥

それだけなんですかぁ〜？

たったお札一枚で表せるんですかぁ〜♥

光 ⇒そうだよぉ〜♥

にまーい♥さんまーい♥よんまーい♥ごまーい♥

お札いっぱい入ってるんだしー♥

僕君のお射精したい気持ちをお金で表してほしいなぁ〜♥

萌 ⇒わからなかったらぁ〜♥

全部使っちゃえばいいんですよぉ〜♥

それが一番萌たちに僕君の気持ちが伝わると思いませんかぁ〜♥

光 ⇒何より僕君にとって一番わかりやすいでしょ？

ほら♥早くお札全部つかんでえ〜♥

さっきみたく萌お姉ちゃんのおっぱいに入れちゃおっか♥

萌 ⇒はあい♥

お胸の中にい〜♥

その分厚いお札をこぼさず入れられますかねぇ〜♥

はみ出ちゃダメですからねぇ〜♥

光 ⇒萌お姉ちゃんのおっぱい募金箱を僕のお金でいっぱいにしてあげて♥

萌 ⇒んっ♥んん♥

僕君のぴゅっぴゅっしたーい♥って気持ちが萌のおっぱいにい〜♥

いっぱい入ってきますよぉ〜♥

光 ⇒あはは♥おっぱいからお札はみ出ちゃってるぅ〜♥

はみ出ちゃダメって萌お姉ちゃんが言ったの聞いてなかったのかな〜？

イケナイ子だなぁ〜♥

萌 ⇒いいんですよねぇ〜♥

萌の大きいおっぱいからあふれちゃうくらいぴゅっぴゅっしたいんですよねぇ〜？

僕君の気持ち、萌にいっぱい伝わりましたよお〜♥

だからぁ〜おズボンぬぎぬぎしましょうねえ〜♥

光⇒はぁい♥ぬぎぬぎしましょうねえ〜♥

(少年、二人のなすがままに服を脱がされる)

萌⇒はぁい♥

おちんちんちゃんよくきましたねえ♥

今から萌の太ももが食べてあげますねえ♥

光⇒じゃあそのかわいく勃起しちゃったおちんちんをお〜♥

光⇒じゃあそのかわいくおっきしちゃったおちんちんをお〜♥

萌お姉ちゃんの、おっきくてむっちむっちの太ももの間に入れちゃおっか？

萌⇒はぁい♥スカートめくってあげましたけど一分かりますかー？萌の太もも♥

ふふ♥おぱんつじゃないですよー♥

その下におちんちん入れるんですよー♥

萌の太ももが僕君のおちんちん食べるの待ってるのでえ♥

早くしてくださーい♥

(光ちゃん、顔を少年の肩から乗り出して少年と萌の結合部をみながら少年にささやく)

光⇒はーやーくー♥そうそう♥腰突き出して♥はーいとうちゃーく♥

萌⇒ふふ♥いい顔してますねー僕君♥萌の太もも気持ちいいですかぁ〜♥

そしたらぁ〜♥んん♥

おちんちんを太ももで押しつぶすしちゃいまーす♥♥ぎゅうう♥

光⇒そしたらぁ〜前後に動いてえ〜♥

おちんちん太ももでごしごししよっかぁ〜♥

そうそう♥

ごーし♥ごーし♥

うまいぞー♥

ごーし♥ごーし♥

上手だからぁ〜乳首も弄ってあげるねえ〜♥

乳首こーりこーり♥きゅっ♥

ふふふwかわいい♥

萌 ⇒我慢した分全部出していいんですよお〜♥

はあい♥へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥

萌の太もも気持ちいいですかあ〜♥

萌の太ももお〜♥やわらかいですか〜♥

おちんちん太ももに負けちゃいますねえ〜♥

勝てませんね〜♥

へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥ふふ♥

かわいいですねえ〜♥

光 ⇒つーん♥つーん♥かりっ♥かりっ♥くーる♥くーる♥ぎゅっ♥ぎゅっ♥

萌 ⇒へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥すーり♥すーり♥ぱん♥ぱん♥

萌 ⇒あはは♥すっかりおバカさんの顔してますねえ〜♥

いいですよお〜♥

なーんにも考えなくていいんですよお〜♥

ただお漏らしのことだけ考えればいいんですよお〜♥

光 ⇒僕君は知らないと思うんだけどお〜♥

女の子に乳首いじられちゃう男の子ってえ〜♥

女の子から見たらすっごい恥ずかしくてえ〜♥

弱くてえ〜♥

かっこ悪いんだよお〜♥

でもいいよねえ〜♥

だって気持ちいいんだもんねえ〜♥くーる♥くーる♥つん♥つん♥

萌 ⇒あとあとお〜♥

女の子に負けちゃう男の子って一♥

すっごい情けなくてえ〜♥

女の子からお相手してもらなくなっちゃうんですよお〜♥

知ってましたかあ〜♥

でもいいですよねえ〜♥

萌たちがいますもんねえ〜♥

萌たちの言いなりなっちゃう方が気持ちいいですもんね〜♥

おちんちん太ももにへこへこするの止まらないんですよもんねえ〜♥

へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥

光 ⇒乳首いじられてえ〜♥

お姉ちゃんたちに囁かれていっちゃえ♥

萌 ⇒おちんちん挟まれてえ♥

腰へこへこさせていっちゃってくださいあい♥

萌 ⇒頭、萌たちのことだけにしてくださいあい♥

光 ⇒お姉ちゃんたちの顔浮かべただけでえ〜♥

おちんちんおっきくなっちゃうくらいにっ♥

お姉ちゃんたちのこと考えてー♥

萌 ⇒萌たちの姿見ただけで、

お漏らしのことしか考えられないおばかさんになってー♥

光 ⇒お姉ちゃんのことばかり考えてー♥

萌 ⇒おちんちんのことばかり考えてー♥

光・萌 ⇒お姉ちゃんのものになってね♥僕君♥

(少年、射精す)

萌 ⇒あはぁ♥どくどく♥びゅっ♥びゅっ♥びゅううう♥びゅううう♥

僕君のドロドロねばねばのせーえきがー♥萌の太ももにかかってヌルヌル〜♥

そのまま萌にヌリヌリしましょうね〜♥

し終わるまで逃がしませんよお〜♥

ぎゅうううううう♥

光 ⇒体すっごい震えちゃって〜♥

背筋がびくんびくんって仰け反っちゃうねえ〜♥

お姉ちゃんたちにしてもらおう射精そんなに気持ちいいのかな〜？

ほらーお返事してよー♥つーん♥つん♥

萌 ⇒ふふ♥ぴくん♥ぴくん♥敏感ですねえ♥

すっかり女の子になっちゃいましたねえ〜♥

光 ⇒でもー♥

お精子びゅっびゅっしてるからぎりぎり男の子だね♥

よかったね♥僕君♥

萌 ⇒気持ちよかったですかあ〜♥

僕君♥でもお〜♥

ここで一つお話しなきゃいけないことがあるんですよお〜♥ねー？光ちゃん♥

光⇒そうだねえ〜♥

僕君さっきお姉ちゃんのお金で募金したよねえ〜♥

萌⇒あれえ〜なんて言うか知ってますかぁ〜♥

光⇒分かるかなー？あれはね〜借金っていうんだよお〜♥

萌⇒人から借りたお金は返さなきゃいけないんですよお〜♥

それは分かりますよねー？

ちなみに光ちゃんお財布にはいくらはいってたんですか？

光⇒うーん確か 20万は行ってたかなあ〜♥

僕君はその 20万をお姉ちゃんに返さなきゃいけないんだよお〜♥

払えるかな〜？

萌⇒払えませんかよねえ〜♥

萌たち分かってましたよお〜♥

どうしましうかねえ〜♥

どうしたらいいんでしょうね〜♥

ママに言ったら怒られちゃいますね〜♥

光⇒ふふ♥そんな泣きそうな顔しないのっ♥

そこでー♥お姉ちゃんにいい考えがあるの♥

お姉ちゃんの言う通りやってくれば、ママにばれずにお姉ちゃんにお金が返せるよっ♥

萌⇒そうですよお〜♥

僕君にぴったりのお仕事萌たち知ってるんですよー♥

それで働いてお金返してくれませんかー♥

光⇒大丈夫♥僕君にもできる簡単なお仕事♥

しかも最初はお姉ちゃんたちが教えてあげるから安心して♥

萌⇒僕君のおこづかいじゃあ、全部返すのに何年かかるかわかりませんよねえ〜？

光⇒でもこのお仕事なら僕君が頑張ればすぐに全部返せるよー♥

萌⇒いいお話だと思いませんか〜？

光⇒お姉ちゃんたち優しいよねえ〜？

萌 ⇒やってくれますよねえ～？

光・萌 ⇒ねえ～？

光 ⇒はあい決まりい～♥

じゃあ日曜日の朝9時にお姉ちゃんと出会った駅前に集合ね♥

遅れちゃダメだよ♥僕君♥

萌 ⇒遅れちゃったらあ～♥

おしおきしちゃいますからねえ～♥約束ですよお～♥

光 ⇒うんうん♥よしよし♥かわいい♥かわいい♥

んじゃお姉ちゃんとお買い物しよっか♥

萌 ⇒もしかして忘れてましたかぁ～？

光 ⇒おつかいだよ♪

お・つ・か・い♪

お金はお姉ちゃんが出してあげるから一緒におつかいしよ♥

僕君♥

萌 ⇒精子さんふきふきしてえ～♥

おズボンはけたらいきますよ僕君♥

一旦ここまで

長らくお待たせして申し訳ありませんでした。募金出します。早くて12月、遅くとも今冬中に出すのでよろしくお願いいたします。

2章まで区切ったのはネタバレを防止し楽しみにお待ちいただきたいのがありますが、とりわけ3章が脚本を見ただけでは理解しづらい構造になっているお見せしてもあまり意味のないものになってしまっているためもあります。それ以外にもいろんな布石を仕込んであります。既に2章までの時点でもかなりばらまいてあります。楽しみにお待ちいただければ幸いです。

この脚本は2年前にほぼすべて書き上げられており細かい言い回し以外は変わってないです。時間が経った自分の脚本というのは未熟さや後悔が目について往々にして見返したくないものであります。ですがこの脚本は今でも納得のいく出来であり、まぎれもなく今の自分でも出力できるか分からないその当時の自分のベスト以上のものがアウトプットされたものです。だからこそ多少の困難であっても出したかった作品でもあります。

困難というのは薄々分かっている方もいるかと思いますが、白状してしまうと萌ちゃんの声優です。ここで一つ謝らなくてはならないのですが、萌ちゃんの声優は違う方をお願いしてあります。全く同じキャストを期待していた方には残念なお知らせとなってしまい大変申し訳ありません。

ですが、だからと言って生半可なこともするつもりは毛頭ございません。僕は萌ち

ちゃんという人物が本当に好きで、萌ちゃんを書く必要のなくなった今でも萌ちゃんらしい行動やセリフをいつでも出力できるくらいには萌ちゃんが好きです。光ちゃんとの普段のやりとりを妄想し、ふと職場PCのVSCodeでテキストとして書き残しちゃうくらいには好きです。(未希ちゃんでもよくやってしまうのですが...)とにかく僕自身、萌ちゃんに心を奪われている一人であるという自負があります。納得できない萌ちゃんを出すくらいなら出さない方がましという思いで僕は萌ちゃんを演じてくださる声優さんを探しました。

そしてこの度、そんな私の身勝手に厄介な要求にも関わらず、それを真摯に受け止めていただき、萌ちゃん役を引き受けてくださった方がいます。演技のディレクションをさせていただ上で音声を拝聴いたしましたが、まさしく僕の思う一見無警戒でゆるそう物知らずでちょろそうでありながら、一度足を踏み入れたら最後抜け出すことができずドロドロになるまで甘く溶かすそんな蠱惑的な魅力を持つ萌ちゃんそのものでした。なので萌ちゃんと光ちゃんに人生を絞られたいという方はご安心いただければと思います。そして僕はその作品を通して、一作目を買ってくださった方、気に入ってくださった方、感想をくださった方、力を貸してくださった全てに感謝を伝えたく、内容としてもそういう内容、そういうシコリティになっています。のでぜひ楽しみにお待ちいただければと思います。それでは長くなってしまいましたが、次回作、貢ぎマゾ募金Ⅱでお会いできれば幸いです。また逢う日までごきげんよう。
